

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-001	事務事業名	交通安全施設設置（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
1	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。 (R3実績) 要望等対応件数 1,787件					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所を精査したり、定期的なパトロールを実施し、道路施設の被害を未然にかつ最小限に防ぐなど、効果的・効率的に交通安全施設の充実・更新を行った。 また、令和3年度は、学校、PTA、道路管理者及び地元警察署等による通学路の合同点検の結果に基づき安全対策を実施した。 今後とも交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図る必要がある。
						うち一般財源		148,083	223,707	106,471	
						主な 内 訳	交通安全施設維持管理計画等委託料	12,910	8,648	10,500	
							交通安全施設設置工事費	312,473	231,794	330,834	
							照明ポール等資材購入費	0	9,254	5,297	
							負担金	0	0	6,000	
人件費(b)						65,600	53,300	61,664			
年間経費(c)=(a)+(b)		390,983	302,996	414,295							
No.	事業番号	019-002	事務事業名	舗装補修マネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
2	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)			費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	市内の幹線道路等（約323km）について、道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査（路面性状調査）を行い、損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れた維持管理を進める。 【ひび割れ等の定期的な調査】 平成22年度以降、5年に1度の頻度で実施。直近では令和2年度に実施した。 【補修箇所】 交通量の多い緊急交通路や幹線道路を中心に、4km/年を目標に舗装補修を実施。					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	国費や令和8年度までの時限措置となっている公共施設等適正管理推進事業債を充当し計画的に事業を推進している。これらの財源を積極的に活用して、令和3年度は当初目標の延長4kmを上回る延長約10km（R3年度末時点 発注ベース）の道路で舗装補修を実施した。個別施設計画に基づき事業を推進し、将来にわたる維持管理コストを縮減することができた。
						うち一般財源		85,542	110,946	91,807	
						主な 内 訳	計画策定等委託料	90,532	62,177	67,500	
							舗装補修工事	676,110	772,336	1,058,707	
人件費(b)						83,640	73,800	82,656			
年間経費(c)=(a)+(b)		850,282	908,313	1,208,863							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-003	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
3	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭い道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。 (R3実績) 道路改良工事延長 256m			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から路面の改良などを行い、通行の安全や通行空間を確保することで、効果的・効率的に事業を実施した。 危険度や改良工事による利便性の向上程度等を考慮しながら道路擁壁改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善など事業を推進することは、通行安全の確保だけでなく生活環境にも寄与するなど効率的であるため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。		
				うち一般財源		74,295	43,315	96,100			
				主な内訳	道路測量等設計等委託料	990	5,255	18,000			
					道路新設改良工事	73,305	22,398	78,100			
					負担金	0	2,901				
					土地購入費	0	12,245				
消耗品費等						516					
人件費(b)				16,400	8,200	17,056					
年間経費(c)=(a)+(b)		90,695	51,515	113,156							
No.	事業番号	019-004	事務事業名	舗装補修	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
4	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	既設道路の舗装について、道路パトロールや市民からの要望等をもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。 (R3実績) 要望対応件数 954件			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から速やかに舗装補修を行った。また、これまでの道路パトロール等だけでなく、LINEによる通報システムも活用するなど、より早期に効率的に補修することができた。 社会基盤である道路の舗装補修は、安全・安心のため道路管理者として最も重要な事業であるため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		473,139	830,076	690,663			
				主な内訳	舗装補修工事設計	2,948	2,072	17,533			
					舗装補修工事費	445,839	809,129	653,130			
					負担金	24,352	18,875	20,000			
人件費(b)				139,400	73,800	53,382					
年間経費(c)=(a)+(b)				612,539	903,876	744,045					

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-005	事務事業名	河川水路維持（地域整備事務所）	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業			
5	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—					
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—					
	取組の方向性	—			主な取組		—						
	事業内容					投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。 (R3実績) 要望対応件数 184件					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	市民からの要望等を勘案し、良好な排水機能を維持するために水路の整備工事や補修等を行った。また、水災害の被害を未然にかつ最小限に防ぐため、豪雨によって排水施設に堆積する土砂等の清掃を事前に行った。 市街地における小規模な管理河川や水路については、昨今のいわゆるゲリラ豪雨等の水災害等の観点からも、河川水路等の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		
						うち一般財源		7,106	4,489	9,490			
						主な 内 訳	水路構造物ほか修繕料等		1,682	1,970			1,210
							浚渫等委託料		1,060	1,067			1,600
							水路等整備工事費		3,937	1,012			6,200
							調整池観測局盤通信回線使用料		314	314			450
維持補修用原材料費							113	126	30				
人件費(b)						8,200	4,100	4,100					
年間経費(c)=(a)+(b)		15,306	8,589	13,590									
No.	事業番号	019-015	事務事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業			
6	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7					
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進						
	事業内容					投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	計画的な道路の維持管理を行うため、道路を構成する構造物（ボックスカルバート、案内標識等）について個別施設計画に基づき、点検・診断・措置（補修・更新）・記録のメンテナンスサイクルを実施する。 (参考：道路構造物と管理施設数) トンネル 2箇所 ボックスカルバート（大型） 6箇所 ボックスカルバート（小型） 32箇所 案内標識（門型） 70基 案内標識（大型） 1,945基 道路照明灯 16,027基					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	令和3年度は、ボックスカルバート（大型）6箇所の法定点検を実施した。さらに市道の道路照明灯約1500基の点検業務を実施した。また、道路照明灯更新工事を124箇所、案内標識更新工事を21箇所で行った。 個別施設計画で更新が必要と位置付けた施設について、予防保全型の事業を推進したことで、将来にわたる維持管理コストを削減することができた。 また、大阪府都市基盤施設維持管理データベースシステムを活用し、施設情報や点検結果を一元的に管理することにより、今後のデータ分析や情報更新における利便性の向上につなげていく。		
						うち一般財源		107,087	234,247	239,840			
						主な 内 訳	各種調査委託料		52,587	96,096			122,440
							整備工事費		33,844	113,718			118,800
							使用料及び賃借料		73,147	120,371			119,740
							負担金及び通信運搬費		0	0			100
備品購入費							96	33	1,200				
人件費(b)						0	125	0					
年間経費(c)=(a)+(b)		53,300	49,200	41,984									
年間経費(c)=(a)+(b)		160,387	283,447	281,824									

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-020	事務事業名	泉北ニュータウン道路舗装更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業		
7	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7				
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	老朽化が進んでいる泉北ニュータウン内の道路舗装について、計画的に舗装更新を実施し、舗装の長寿命化と予算の平準化を図るとともに、安全・安心な道路空間を確保する。 【対象道路】 ・地区幹線道路（約80km） 主にバス等が通行する道路や歩道がある道路等、道路幅員が概ね6m以上の道路 ・生活道路（約120km） 主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	財源に交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用や占用手工事と連携した取り組みを行うなどして、事業を推進している。 H28を初年度とし、対象路線の舗装更新を順次進めているが、現在の事業進捗は、地区幹線道路約26%、生活道路約23%（R3末時点 発注ベース）となっており、計画的に事業を実施している。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。	
						うち一般財源		212,806	261,945	320,875		
						主な 内 訳	舗装更新設計委託		26,106	98,844		37,275
							舗装更新工事		17,802	18,334		0
							舗装更新負担金		112,904	188,364		224,414
									82,100	55,247		99,761
人件費(b)						57,400	32,800	36,162				
年間経費(c) = (a)+(b)		270,206	294,745	357,037								
No.	事業番号	019-022	事務事業名	特殊車両通行許可事務	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業		
8	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—				
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—				
		取組の方向性	—				主な取組	—				
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見		
	車両制限令に規定の車両の幅・長さ・高さ・重さ等の最高限度を超える車両の通行について、通行許可書の発行を行う。 他の道路管理者からの通行協議に対し回答する。					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	道路の構造を保全し、交通の危険を防止することを目的とし、特殊車両の通行許可、協議回答を適法、的確に実施している。また、協議回答に係るFAX受信は全て電子化し、送信に関しては内容を精査して使用枚数を削減するなど、事業の効率化を図っている。 (通行許可及び協議回答 約5,500件/年)	
						うち一般財源		2,314	5,141	5,605		
						主な 内 訳	報酬		0	0		5,252
							インターネット回線使用料		1,557	4,222		4,271
							その他（消耗品等）		81	81		93
									676	838		1,241
人件費(b)						28,630	23,780	23,780				
年間経費(c) = (a)+(b)		30,944	28,921	29,385								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-029	事務事業名	法定外公共物管理事務	所管局	建設局	所管課	法定外公共物課	分類	B 法定義務等事業	
9	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	—			
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—			
	取組の方向性	—			主な取組		—				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
9	主な事業内容 法定外公共物の財産管理者として、使用許可、用地処理、境界確定等、適正な管理を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 R3年度新規許可件数 312件 ②売り払い等の用地処理に関する事務 R3年度売り払い実績 17件 523.53㎡ 21,510,775円 ③境界確定協議に関する事務 R3年度境界確定協議件数 210件 R3年度謄抄本交付件数 101件 R3年度情報提供件数 1,467件			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	法定外公共物の境界確定、使用許可、売り払いを行っているものである。従前は、未利用地を売却する際に不動産鑑定士に鑑定を依頼していたため、狭小土地の売却が多い現状では、売却収入より鑑定費用が高くなるケースが多々あった。令和3年度より鑑定によらず評価することになり、鑑定費用は不要になり、不法占拠案件も事前に土地価格を先方に提示でき、撤去指導ではなく払下交渉を行うことができるようになった。それによって未利用地の売却促進(売却代金増、維持管理費減)につながる。また、コロナ対策として人同士が接触する機会を極力減らすため、郵送による申請書類の受付や現場立会の分散による密の回避を行うなどの改善を行っている。また、申請書類の受付等について、ICTの活用により更なる業務の効率化・サービスの向上を図っていく。		
				うち一般財源		17,105	18,346	18,963			
				主な内訳	法定外公共物管理台帳作成業務等委託料	7,639	8,614	8,328			
					報酬・期末手当	6,124	7,172	7,560			
					情報システム機器借上料	1,026	1,026	1,026			
					損害賠償金	545	0	0			
					その他(消耗品費等)	1,771	1,534	2,049			
				人件費(b)		90,600	99,800	99,900			
年間経費(c)=(a)+(b)		107,705	118,146	118,863							
No.	事業番号	019-030	事務事業名	内川排水機場維持管理	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業			
10	基本計画	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 実施との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			主な取組		住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
10	・内川排水機場は設置から35年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。 ・河川構造物の耐震性能照査指針(国土交通省)に基づき、液状化を考慮した耐震対策を行う。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	R3は下記の工事を実施し、長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金及び公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。 内川排水機場冷却水ポンプ更新工事		
				うち一般財源		128,001	82,285	144,534			
				主な内訳	施設運転監視等委託等	43,578	50,459	47,750			
					冷却水ポンプ更新工事	0	4,200	11,690			
					耐震補強工事	10,900	24,589	0			
					蓄電池更新工事、除塵機設備整備工事	27,980	0	0			
					その他	45,543	3,037	85,094			
				人件費(b)		14,760	14,760	14,760			
年間経費(c)=(a)+(b)		142,761	97,045	159,294							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-031	事務事業名	一般河川改良事業	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業		
11	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~		SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上			ターゲット	11.5,11.b			
	取組の方向性	①危機対応力の強化		主な取組		住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>【治水対策】</p> <p>一級河川狭間川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを当面の整備目標とし、下流部より順次河道改修工事を進めている。</p> <p>準用河川百舌鳥川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを整備目標とし、上流部の狭あい区間における治水安全度の向上を図ることを目的に、令和元年度より河道改修事業を進めている。</p> <p>【河川管理施設の適正化】</p> <p>河川管理施設の点検・評価結果に基づき、予防保全対策として、本市における一級・二級・準用河川の河床・護岸補修等を実施している。</p>			事業費(a)	R2決算	R3決算	R4予算	<p>令和3年度においても、1級河川狭間川、準用河川百舌鳥川の河道改修工事を重点的に実施した。また河川施設の点検・評価結果に基づき、優先順位をつけて効果的かつ効率的に河床・護岸補修工事等を実施した。</p> <p>なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。</p>		
				うち一般財源	250,837	257,018	331,826			
				主な 内 訳	狭間川改修事業	141,648	115,062		177,316	
					百舌鳥川改修事業	36,273	47,056		44,565	
					河床・護岸補修等	37,815	51,644		75,500	
					急傾斜地崩壊防止工事負担金助成事業	0	999		2,000	
光竜寺川改良事業等					35,101	42,257	32,445			
人件費(b)				13,120	13,120	13,120				
年間経費(c)=(a)+(b)	263,957	270,138	344,946							
No.	事業番号	019-037	事務事業名	事故危険箇所対策検討ほか業務	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
12	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~		SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			ターゲット	3.6			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備		主な取組		道路の交通安全対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>事故危険箇所の対策は、国の社会資本整備重点計画の重点施策であり、道路管理者と公安委員会が連携の上、交通事故対策に取り組むこととされている。</p> <p>令和3年度は、事故危険箇所の対策案の検討および毎年更新される事故データを基に対策後の効果評価を行った。</p>			事業費(a)	R2決算	R3決算	R4予算	<p>事故危険箇所の対策案及び対策後の効果評価データは、国並びに公安委員会と共有するとともに、必要に応じて追加対策を検討・実施するなど、道路管理者と公安委員会が連携することによって、効果的かつ効率的に交通安全事業を進め死傷事故の抑止を図る。</p>		
				うち一般財源	1,705	8,877	0			
				主な 内 訳	調査委託費	1,705	8,877		0	
人件費(b)				6,931	6,931	6,931				
年間経費(c)=(a)+(b)	8,636	15,808	6,931							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-038	事務事業名	道路・街路交通情勢調査等	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業	
13	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>国が主体となって実施する全国道路・街路交通情勢調査は、概ね5年 間隔で実施してきており、日本全国の道路と道路交通の実態（一般交 通量調査、OD調査）を把握し、道路の計画、建設、管理などについて の基礎資料として活用している。</p> <p>また、同調査と主要渋滞箇所に係る交差点調査を同時期に行うことで 効率的な調査を実施するものである。</p> <p>令和3年度は、交通量調査と道路の現況調査および交差点調査を 実施している。</p>			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	<p>国が主体となって実施する全国道路・街路交通情勢調査の結果 を用い、市内の道路網の交通状況を把握するとともに、都市計画 道路整備後の交通流の変化等を分析することにより、都市計画道 路の整備効果の確認等に活用している。</p> <p>また、交差点調査は、主要渋滞箇所に加え、関係課の事業に関 連する箇所も一括して調査することで経費の削減を図っている。</p>		
				うち一般財源		0	40,590	2,000			
				主 な 内 訳	調査委託費		0	40,590			2,000
				人件費(b)		7,751	7,751	7,751			
年間経費(c)=(a)+(b)		7,751	48,341	9,751							
No.	事業番号	019-039	事務事業名	都市計画道路整備プログラム	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業	
14	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位: 千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	<p>都市計画道路整備プログラムは概ね5年ごとにプログラムの見直しを行う こととしている。令和3年度は、未着手の都市計画道路の整備効果の 検証を行っており、本プログラムの見直しに向けた検討を行う。</p>			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	<p>都市計画道路整備プログラムは、都市計画決定済みの道路につ いて、優先して整備着手すべき路線と時期を示し、限りある財源の 中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すもので ある。</p>		
				うち一般財源		0	12,342	0			
				主 な 内 訳	調査委託費		0	12,342			0
				人件費(b)		8,571	7,751	7,751			
年間経費(c)=(a)+(b)		8,571	20,093	7,751							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-044	事務事業名	諏訪森神野線（延伸）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
15	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
慢性的な交通渋滞の要因である鉄道交差部の構造を改善し、幹線道路と接続することで、円滑な交通の確保を行う。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成4年5月29日～令和5年3月31日 事業区間：西区宮下町～西区神野町 路線延長：L=1,050m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 JR立体交差 1箇所 令和3年度は、道路築造工事を行い、8月に全線供用開始した。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	本事業は平成4年度～令和3年度に掛けて推進しており、工事延長L=1,050m、幅員W=18m区間の用地取得をはじめ一部区間においてはJR阪和線高架下の道路を拡幅するなど大規模な道路事業である。令和3年度は8月に道路工事の完了及び供用開始し、長年の課題であった鉄道交差部の構造を改善し、円滑な交通を確保することができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。			
			うち一般財源		618,973	130,938	46,810				
			主な内訳	工事費	161,198	118,716	9,100				
				用地費	0	1,020	24,000				
				測量等委託費	450,447	4,533	1,000				
				物件移転補償金	4,152	2,450	0				
				その他	3,176	4,219	12,710				
			人件費(b)		8,571	7,751	5,783				
年間経費(c)=(a)+(b)		627,544	138,689	52,593							
No.	事業番号	019-045	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
16	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和3年度は、用地取得を行い、道路詳細設計、地質調査等を進めた。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。また、土地所有者との協議を円滑に進め、用地測量並びに支障物件調査を計画的かつ効率的に実施できた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：50.2%			
			うち一般財源		534,795	494,545	235,732				
			主な内訳	工事費	559	823	500				
				用地費	497,248	379,979	42,000				
				測量等委託費	19,814	95,157	185,132				
				物件移転補償金	17,038	18,174	5,000				
				その他	136	412	3,100				
			人件費(b)		8,571	7,751	10,703				
年間経費(c)=(a)+(b)		543,366	502,296	246,435							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-046	事務事業名	新家日置荘線（延伸）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
17	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
国道310号と南海高野線初芝駅を東西に結び、駅西側に駅前広場を設けることで、駅西周辺地区から駅へのアクセスの向上を図り、現在、初芝駅東側に集中している駅利用者の交通混雑を緩和する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成13年2月9日～令和5年3月31日 事業区間：東区野尻町～東区日置荘西町 路線延長：L=389m 駅前交通広場A=3,300㎡ 道路幅員：W=16m 車線数：2車線 令和3年度は、用地取得及び供用に向けた道路工事を行った。			事業費(a)			R2決算	R3決算	R4予算	供用に向けた関係機関協議を行い、道路築造工事を実施した。また、土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。これら過年度からの実績もあり令和4年6月に工事完了予定であり、その後すみやかに供用開始する。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%			
			うち一般財源			8,205	12,532	6,120				
			主な内訳	工事費			22,984	71,722				60,781
				用地費			16,783	30,146				0
				測量等委託費			3,713	0				0
				物件移転補償金			480	44,461				0
				その他			66	48				120
			人件費(b)			8,571	7,751	7,751				
年間経費(c)=(a)+(b)			52,597	154,128	68,652							
No.	事業番号	019-047	事務事業名	錦浜寺南町線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業		
18	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量（単位：千円）			費用対効果（事業の効率性）に係る所見					
国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1橋（橋長56.0m） 令和3年度は、石津川を渡河する橋梁の整備に向け、河川管理者との協議を実施したことにより、次年度に橋梁設計を円滑に進めるための準備を行った。			事業費(a)			R2決算	R3決算	R4予算	財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%			
			うち一般財源			31,185	0	14,300				
			主な内訳	工事費			0	0				300
				用地費			601,303	0				0
				測量等委託費			988	0				14,000
				物件移転補償金			0	0				0
				その他			44	0				0
			人件費(b)			6,111	5,783	5,783				
年間経費(c)=(a)+(b)			608,446	5,783	20,083							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-048	事務事業名	草尾南野田線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
19	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和6年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和3年度は、用地取得及び電線共同溝予備設計等を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：80.8%			
			うち一般財源		17,644	7,727	38,391				
			主 な 内 訳	工事費	0	97	22,061				
				用地費	14,967	0	0				
				測量等委託費	2,478	7,620	15,400				
				物件移転補償金	0	0	0				
				その他	199	10	930				
			人件費(b)		6,111	7,751	7,751				
年間経費(c)=(a)+(b)		23,755	15,478	46,142							
No.	事業番号	019-049	事務事業名	大阪河内長野線 (南余部・北野田地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
20	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成25年2月15日～令和3年3月31日 事業区間：美原区南余部～東区北野田 路線延長：L=500m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 橋梁 1橋 (橋長23.4m) 令和3年度は、事業に不要となった残地の処分を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	事業区域外も含めて買収した土地について、道路供用により不要となったため、隣地地権者へ交渉し、早期に処分することにより、歳入の確保及び早期売却による固定資産税等の税源確保に寄与した。			
			うち一般財源		48,390	230	4,500				
			主 な 内 訳	工事費	43,049	0	3,900				
				用地費	0	0	0				
				測量等委託費	5,102	0	0				
				物件移転補償金	0	0	0				
				その他	239	230	600				
			人件費(b)		6,111	3,815	3,815				
年間経費(c)=(a)+(b)		54,501	4,045	8,315							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-050	事務事業名	阪神高速道路(株)の事業に対する出資金	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	B 法定義務等事業	
21	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主要取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資しなければならない。		
				うち一般財源		104,000	77,000	38,000			
				主な 内 訳	出資金		104,000	77,000			
人件費(b)				6,111	6,111	6,111					
年間経費(c)=(a)+(b)		110,111	83,111	44,111							
No.	事業番号	019-052	事務事業名	大阪河内長野線 (八下地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
22	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主要取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和8年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和3年度は、用地取得及び道路詳細設計を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と用地取得に向けた交渉を鋭意行った結果、用地取得することができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：54.5%		
				うち一般財源		197,581	310,730	6,440			
				主な 内 訳	工事費		253	0			
用地費					132,931	219,926	0				
測量等委託費					31,062	15,406	5,630				
物件移転補償金					33,280	74,902	0				
その他				55	496	310					
人件費(b)		6,111	7,751	7,751							
年間経費(c)=(a)+(b)		203,692	318,481	14,191							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-053	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
23	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地区 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	令和元年度の事業認可取得後、地権者への事業説明会を行うために各種調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症により実施できず、郵送による対応にとどまっている。 用地取得率：0%		
				うち一般財源		21	0	6,320			
				主な 内 訳	工事費		0	0			300
					用地費		0	0			0
					測量等委託費		0	0			5,400
					物件移転補償金		0	0			0
その他					21	0	620				
人件費(b)				4,471	5,783	5,783					
年間経費(c)=(a)+(b)		4,492	5,783	12,103							
No.	事業番号	019-054	事務事業名	大阪和泉南線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
24	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和4年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町1丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和3年度は、用地取得を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得することができた。また、土地所有者との協議を円滑に進め、用地測量を計画的かつ効率的に実施できた。なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：30.3%		
				うち一般財源		5,280	89,211	3,010			
				主な 内 訳	工事費		0	0			300
					用地費		0	68,171			0
					測量等委託費		5,280	4,003			2,400
					物件移転補償金		0	17,007			0
その他					0	30	310				
人件費(b)				5,291	5,783	5,783					
年間経費(c)=(a)+(b)		10,571	94,994	8,793							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-056	事務事業名	交通安全施設設置（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業		
25	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		道路の交通安全対策の推進					
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	主に通学路、踏切、交通事故が多発している道路を対象に、歩道設置や踏切改良等の交通安全施設設置事業を行う。 令和3年度は、歩行空間の整備を目的として、2路線の道路拡幅を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	施工範囲や用地買収の範囲を可能な限り少なくした整備手法を採用し、効率的に事業を進めている。			
				うち一般財源		15,743	29,483	40,935				
				主な 内 訳	設計、測量等		8,943	29,483				17,335
					工事費		8,124	6,302				27,072
					用地補償費		4,924	7,511				5,000
					負担金		2,695	15,667				7,353
その他					0	0	1,000					
人件費(b)				0	3	510						
年間経費(c)=(a)+(b)		13,050	9,840	18,860								
		28,793	39,323	59,795								
No.	事業番号	019-057	事務事業名	直轄国道負担金	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	B 法定義務等事業		
26	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2				
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化					
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見				
	地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 （主な事業） 住吉橋架替事業、電線共同溝事業			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国により計画的に事業を実施している。			
				うち一般財源		365,500	311,820	353,000				
				主な 内 訳	負担金		16,500	1,920				1,300
							365,500	311,820				353,000
人件費(b)				820	820	820						
年間経費(c)=(a)+(b)		366,320	312,640	353,820								

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-058	事務事業名	一般道路新設改良（道路整備課）	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業	
27	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		道路の交通安全対策の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	幅員が狭い生活道路（府道、市道）において、狭い箇所の拡幅、隅切りの設置、車両離合場所の設置等により、安全性及び利便性の向上を図るものである。 令和3年度は、6箇所道路拡幅を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	施工範囲や用地買収の範囲を可能な限り少なくした整備手法を採用し、効率的に事業を進めている。		
				うち一般財源		38,420	21,998	52,020			
				主 な 内 訳	工事設計、測量等委託	32,981	24,886	77,600			
					工事費	83,053	99,634	153,100			
					用地費・補償費	24,367	32,063	16,900			
					その他（役務費、需用費）	19	16	720			
人件費(b)				40,180	40,180	40,180					
年間経費(c)=(a)+(b)		180,600	196,779	288,500							
No.	事業番号	019-061	事務事業名	南海本線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
28	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主要取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7箇所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約423億円 令和3年度実施内容 ・鉄道仮線工事、一部高架工事 ・占用物移設工事 ・阪堺線東側移設に伴う船津水路移設工事 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	・事業スケジュールに基づき、鉄道事業者や関係者と調整を十分に 行い、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・工事進捗に応じた関連工事の一体施工などの創意工夫とあわせ て、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業 に取り組むことができた。		
				うち一般財源		174,994	140,082	475,951			
				主 な 内 訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金	1,038,545	755,000	4,745,900			
					物件移転補償金	534,431	512,413	518,343			
					公有財産購入費	746,016	0	0			
					工事請負費	8,462	28,899	75,100			
その他				70,859	72,326	128,959					
人件費(b)		38,040	36,400	36,400							
年間経費(c)=(a)+(b)		2,436,353	1,405,038	5,504,702							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-062	事務事業名	南海高野線連続立体交差事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業	
29	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
鉄道高架延長：約3.2 km 踏切除却数：10箇所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅 令和3年度実施内容 ・鉄道に関する調査設計 ・都市計画決定 ・環境影響評価書の作成及び公表 ・国土交通省及び大阪府と事業認可取得に向けた協議を実施 ・事業認可取得			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	・新型コロナウイルス感染症による事業スケジュールへの影響を最小限にするため、説明動画やWeb会議などICTを有効活用し、臨機応変に対応した結果、都市計画決定や事業認可取得を計画通りに達成することができた。 ・事業を継続して効率的に進めるために、事業概要や事業認可取得による法的制限等についての説明会開催や個別対応など丁寧に理解を求めながら、早期の工事着手に向けた測量や物件調査を進める。			
			うち一般財源		99,001	82,523	162,153				
			主な内訳	工事設計、測量及び地質調査等委託業務	74,800	72,300	125,000				
				都市計画支援等業務	20,901	9,790	4,000				
				その他委託料	2,684	0	21,000				
				土地借上料	0	0	7,000				
				その他	616	433	5,153				
			人件費(b)		31,160	41,000	43,500				
年間経費(c)=(a)+(b)		130,161	123,523	205,653							
No.	事業番号	019-063	事務事業名	出島百舌鳥線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
30	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位:千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和5年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A=2,460㎡ 車線数：2車線 令和3年度は、用地取得及び道路詳細設計等を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得及び用地取得に必要な支障物件調査等を行うことができた。また、都市計画道路整備に合わせた道路詳細設計等を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率（駅前広場）：48.8%			
			うち一般財源		232,042	112,207	38,024				
			主な内訳	工事費	6,297	286	12,300				
				用地費	162,951	34,250	0				
				測量等委託費	6,431	20,342	25,414				
				物件移転補償金	55,668	57,045	0				
				その他	695	284	310				
			人件費(b)		6,111	5,783	5,783				
年間経費(c)=(a)+(b)		238,153	117,990	43,807							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-068	事務事業名	公園施設管理事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業	
31	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用			主な取組		民間活力を活用した魅力的な公園の運営				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用頂くため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。また、行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立って、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【R3年度の実施内容】 ・樹木剪定や清掃等の維持管理業務、公園施設の修繕や改修工事、公園管理に要する光熱水費等 ・P-PFI事業の推進、指定管理による施設運営、公園愛護会活動支援			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	・競争入札による電気使用料の縮減（令和元年度より継続）等、維持管理費用の縮減を実施している。 ・民間活力の導入が可能な公園について、民間資金を活用し、本市の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上や公園利用者の利便の向上に向けた事業を行っている。 ・原池公園におけるBBQ施設など、民間資金で設置した施設から生じる収益を活用し、公園の施設整備や維持管理を行っている。		
				うち一般財源		1,842,780	1,987,044	2,207,810			
				主な 内 訳	維持管理業務等	992,870	982,975	1,011,203			
					施設修繕・改修等	326,780	414,630	495,979			
					その他維持管理経費	228,526	242,836	319,493			
					指定管理料等	149,533	212,334	242,135			
公園愛護会関連事業費				145,071	134,269	139,000					
人件費(b)		323,770	323,770	323,970							
年間経費(c)=(a)+(b)		2,166,550	2,310,814	2,531,780							
No.	事業番号	019-074	事務事業名	緑の政策審議会	所管局	建設局	所管課	公園緑地整備課	分類	F 審議会・協議会等運営事業	
32	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさを守ろう			
	2025 の施策 との関連	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進				ターゲット	15.1,15.2,15.5			
	取組の方向性	④生態系や緑の保全			主な取組		都市緑化の推進				
	事業内容			投入量 (単位:千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見			
	本審議会は、委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織された緑の政策審議会(必要に応じて部会を設置)において、市長の諮問を受けて、緑の基本計画その他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。【R3年度の実施内容】 ・R3年12月20日 R3年度第1回審議会開催（堺市役所本館3階大会議室）			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	・新型コロナウイルス感染症拡大による事業スケジュールへの影響が懸念されたが、オンライン会議を活用し、効率的に審議会を開催することができた。 ・第1回審議会:出席委員 11/14人（うち1人はオンライン参加）、会議時間 1時間37分 ・堺市緑の基本計画に掲載されている各施策について、進捗報告を行い、今後のより良い堺の緑の将来像の実現のために、各委員から専門的な助言を得ることができた。 ・令和4年度改定予定の緑の基本計画について、現計画の課題を抽出し改定の方向性を示した。各委員からご意見をいただき、R4年度内の改定に向けて適切に手続きを進めることができた。		
				うち一般財源		396	167	672			
				主な 内 訳	緑の政策審議会 委員報酬	276	112	572			
					印刷製本費	79		100			
					筆耕翻訳料	41	55	0			
人件費(b)				8200	8200	8200					
年間経費(c)=(a)+(b)		8,596	8,367	8,872							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-096	事務事業名	道路橋りょう維持	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
33	基本計画	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある土木施設の維持・管理・修繕等を行う。 (R3実績) 路面清掃延べ延長 13,025km			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	樹木管理や清掃等の委託業務について、剪定や清掃回数の見直しを行った。また、対象路線の見直しを行い維持管理コストの削減を図ることで、効率的に事業を実施している。 なお、安全・安心に通行できる道路機能を確保するため、引き続き当該事業を行っていく必要がある。			
			うち一般財源		742,327	755,024	739,245				
			主な 内 訳	道路清掃、街路樹管理等の管理費	1,053,991	1,086,215	1,086,726				
				街路灯、防護柵等修繕料	694,477	613,878	605,868				
				側溝等整備工事費	101,600	227,320	164,603				
			人件費(b)		378,100	376,800	380,400				
			年間経費(c)=(a)+(b)		2,228,168	2,304,213	2,237,597				
No.	事業番号	019-097	事務事業名	道路管理	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業	
34	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策 との関連	施策	—				ターゲット	—			
	取組の方向性	—			主な取組		—				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に関し、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳（調書・図面）記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	道路台帳の整備や道路占用許可などの手続きについて、道路台帳管理システムなど各種システムを活用し、事務の効率化を図っている。道路台帳に係るデータは普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされており、交付税検査をはじめとした各種照会等に対応した仕様としている。 道路の利活用として、歩道橋ネーミングライツ・パートナー事業を実施し、歳入確保をすすめている。			
			うち一般財源		98,521	90,777	118,695				
			主な 内 訳	道路台帳修正委託料	50,600	50,050	51,292				
				公共用地調査測量等事務	4,376	0	9,500				
				道路占用物件管理許可システム	1,947	968	0				
				道路交通情報提供業務	5,667	5,665	5,670				
				その他の運営に係る事務経費等	35,931	34,094	52,233				
人件費(b)		192,530	167,417	172,200							
年間経費(c)=(a)+(b)		291,051	258,194	290,895							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-098	事務事業名	常磐浜寺線	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
35	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和3年度は、用地取得等を行った。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得及び用地取得に必要な支障物件調査を行うことができた。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：13.6%			
			うち一般財源		416,299	47,447	94,298				
			主な内訳	工事費	0	0	500				
				用地費	410,869	7,960	26,529				
				測量等委託費	5,048	22,624	13,345				
				物件移転補償金	93	16,863	52,674				
				その他	289		1,250				
			人件費(b)		9,145	9,063	9,063				
年間経費(c)=(a)+(b)		425,444	56,510	103,361							
No.	事業番号	019-099	事務事業名	諏訪森神野線 (浜寺・浜寺東地区)	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業	
36	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備			主な取組		東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
主要幹線道路との道路ネットワークの形成に向け、都市計画道路 諏訪森神野線 (浜寺・浜寺東地区) の整備を推進する。 令和3年度は、認可権者の大阪府と協議調整し、都市計画道路の事業認可を取得し、認可事項を周知する看板を当該路線の予定地に設置した。			事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、生活道路への通過交通の抑制が図られるとともに、平行する道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上が図られ、災害時の活動など、防災機能の向上にも寄与する。 なお、令和3年度は、事業認可を取得するとともに、認可後、速やかに看板を設置し、関係者に周知することで、円滑な事業進捗に寄与するもの。 用地取得率：0%			
			うち一般財源		3,392	697	4,000				
			主な内訳	工事費	3,392	0	300				
				用地費		0	0				
				測量等委託費		697	3,700				
				物件移転補償金		0	0				
				その他		0	0				
			人件費(b)		7,751	7,751	5,783				
年間経費(c)=(a)+(b)		11,143	8,448	9,783							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-101	事務事業名	公園施設長寿命化修繕事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業	
37	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.7			
	との関連	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
37	今後、急速に老朽化が進んでいく公園施設に対して、公園利用者が安全・安心で快適に利用できる環境を確保するため、アセットマネジメント手法を取り入れた堺市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の維持管理を推進していく。 【R4年度の実施内容】 ・長寿命化計画に基づく設計・工事 ・公園遊戯施設健全度調査	事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	・公園施設長寿命化計画に基づき、交付金等の歳入を確保した上で改修工事等を実施することで本市の歳出を削減する。 ・各公園施設の重要度や規模等により、「予防保全を図る施設」と「事後保全とする施設」に区分し、計画的、効率的な維持管理を行うことで、公園施設の安全性や快適性を確保しているとともに、費用の面でも維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図っている。				
		うち一般財源		170,258	247,177	349,302					
		主な 内 訳	設計業務	46,160	55,247	23,000					
			整備工事費	77,348	176,057	301,302					
			各種調査・計画策定	46,750	15,873	25,000					
		人件費(b)		41,000	41,000	41,000					
年間経費(c)=(a)+(b)		211,258	288,177	390,302							
No.	事業番号	019-109	事務事業名	河川水路維持	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業			
38	基本計画	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	—			
	2025 の施策	施策	—				ターゲット	—			
	との関連	取組の方向性	—				主な取組	—			
	事業内容			投入量 (単位：千円)			費用対効果 (事業の効率性) に係る所見				
38	管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川環境を保全するため、構造物の修繕及び除草・清掃・しゅんせつ等を行う。 【令和3年度実績】 除草等業務：10河川 浚渫等業務：5河川 点検業務：2河川	事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	樹木管理や清掃等の委託業務について、令和元年度の実績を踏まえ発注内容の見直しを行い必要事項の整理・調整により河川環境の保全を行った。 また河川点検結果より事前補修箇所の抽出を行い、今後の維持補修費用の平準化を図った。				
		うち一般財源		86,229	82,329	84,780					
		主な 内 訳	内川ほか樹木管理業務	15,740	11,092	12,000					
			狭間川他樹木管理業務	15,402	13,744	13,000					
			大仙水路ほか道路排水施設等清掃業務	13,338	9,520	11,000					
			管理河川点検業務	4,994	4,598	6,000					
		その他		36,755	43,375	42,780					
人件費(b)		19,440	19,680	19,680							
年間経費(c)=(a)+(b)		105,669	102,009	104,460							

事業概要一覧表

No.	事業番号	019-110	事務事業名	泉北ニュータウン街路樹更新事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
39	基本計画	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				ターゲット	11.7			
		取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	泉北ニュータウン内において、倒木の危険性や、通行障害、景観機能の低下等が見られる老木化した街路樹の更新を行う。 (更新対象路線) 約80路線 (区間) (更新対象本数) 約6,000本					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	令和3年度は、街路樹の更新等を248本実施した。現在の事業進捗は約25%である。当該事業を行うことで、毎年、委託業務発注を行っている街路樹の剪定や除草面積の削減ができ、維持管理コストの縮減を図ることができた。 今後も引き続き当該事業を推進する必要がある。
						うち一般財源		0	36,041	36,500	
						主な 内 訳	街路樹更新工事		0	36,041	
人件費(b)							0	4,100	4,100		
年間経費(c) = (a)+(b)							0	40,141	40,600		
No.						事業番号	019-112	事務事業名	大和川線周辺整備事業	所管局	
40	基本計画	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	2025 の施策 との関連	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2			
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
	事業内容					投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	阪神高速道路大和川線は令和2年3月に全線供用した。 現在、大和川線周辺において、阪神高速道路(株)が実施している西除川河川復旧工事・常磐黒土線復旧工事にあわせて、既設歩道の復旧及び歩道拡幅部の整備を行う。 令和3年度は、常磐町3丁公園整備工事及び常磐7号線道路復旧工事を実施した。					事業費(a)		R2決算	R3決算	R4予算	大和川線事業(堺市施行区間)は、平成21年度の工事着手から長きにわたり地元住民に協力いただきながら工事を進めてきた。大和川線全線開通を迎えた現在も、引き続き西除川河川復旧工事等を工事中であり、早期に残工事を完了させる必要がある。 公園整備工事や道路復旧工事を行うことによって、良好な生活環境の確保に寄与した。 また、河川復旧工事(阪神高速道路(株)施工)及び大和川線周辺の道路整備工事(堺市施工)に係る設計・協議を積極的に行うことによって、大和川線周辺整備事業の早期完了に寄与した。
						うち一般財源		1,396	255,868	218,357	
						主な 内 訳	工事費		1,199	193,853	
用地費							0	0	0		
委託費							0	61,822	3,000		
負担金							183	0	50,366		
事務費		14	193	1,291							
人件費(b)		11,031	19,231	12,999							
年間経費(c) = (a)+(b)		12,427	275,099	231,356							